

令和4年度
第2回いわき市地域自立支援協議会
議事要旨

いわき市保健福祉部
障がい福祉課

会 議 名		令和4年度第2回いわき市地域自立支援協議会	
日	時	令和4年10月20日(木)	会 場
		午後2時00分から午後3時30分	いわき市文化センター3階 大会議室
出 席 委 員	【構成区分】	(氏名)	(所属・職名)
	学識関係者	吉沢 和朗	独立行政法人国立病院機構いわき病院(内科)
		志賀 忠夫	公益財団法人磐城済世会舞子浜病院(精神科)
	障がい者福祉団体	吉江 路子	いわき市盲人福祉協会女性部会 会計
		吉村 真澄	いわき市手をつなぐ育成会 監事
渡辺 さゆり		いわき地区自閉症児・者親の会 会長	
石井 静子		いわき聴力障害者会 副会長	
障がい者福祉施設等	長谷川 勇三	いわき市腎臓病患者友の会 会長	
	長谷川 秀雄	いわき地区障がい者福祉連絡協議会 会長	
	鍛冶 奈保子	(福)いわき福音協会エデンの家 作業療法士	
	古川 敬【会長】	(福)育成会 理事	
障がい者関係機関	谷平 耀宗	(福)誠心会 理事兼事務局長	
	鈴木 テルコ	社会福祉法人希望の杜福祉会	
	菅野 美恵子	福島県立いわき支援学校 校長	
	奥貫 秀則	いわき公共職業安定所 所長	
	佐藤 香	いわき障害者就業・生活支援センター 所長	
	小野 真弓	(福)いわき市社会福祉協議会生活支援課 主査	
市民代表	渡辺 成子	いわき市ボランティア連絡協議会	
欠 席 委 員	学識関係者	三好 圭	医療創生大学 健康医療科学部 准教授
	障がい者福祉団体	古舘 信義	いわき市身体障害者福祉協会 会長
	障がい者関係機関	柳沼 哲	福島県立平支援学校 校長
事 務 局	いわき市	山廻邊 直人	障がい福祉課 課長
		佐藤 和幸	同 課長補佐
		寺島 文俊	同 支援係長
		佐藤 公威	同 事業係長
		若林 礼佳	同 事務主任
	基幹相談支援センター	園部 義博	いわき基幹相談支援センター所長
		時實 祐志	いわき基幹相談支援センター
		浄土 洋輔	同
		鈴木 洋	同
	地域生活支援部会	本田 隆光	同 (アドバイザー)
		草野 美保	地域生活支援コーディネーター
		芳賀 美穂子	いわき障がい者相談支援センター
		永井 正樹	同
	木村 活昭	同	

配 付 資 料	(1) 次第 (2) 令和4年度第2回いわき市地域自立支援協議会資料 (3) 別冊1「第5次いわき市障がい者計画事業実施状況」 (4) 別冊2「第6期いわき市障がい福祉計画の実施状況・ 第2期いわき市障がい児福祉計画の実施状況」
------------------	--

議事要旨

- 1 開会
- 2 委員及び事務局紹介
- 3 会長挨拶
- 4 報告事項

いわき市地域自立支援協議会設置要綱第6条に基づき、古川会長が議長を務めた。
 (『5 協議事項』、『6 その他』も同様)

議事	発言者	内容
(1) 令和4年度 専門部会中間 報告について	事務局	配布資料P3～16に基づき、令和4年度における各専門部会の活動内容等を報告。
	長谷川 (秀) 委員	就労支援部会について、工賃向上へ向けた取組みに注力していくと、生産性を求めるあまり、障がいの重い方が就労継続支援B型事業所になかなか受け入れてもらえないという状況が生じ、重度の障がいをもつ方が行き場を失っているという現実がある。 地域協働加算が創設されるなど、制度も変化してきていることから、就労支援部会においては、工賃向上以外の取組みも模索しながら、検討して欲しい。(要望)
	事務局	工賃向上以外の視点も取り入れながら、検討して参りたい。
(2) いわき市障 がい者計画事 業実施状況に ついて	事務局	配布資料P17～27に基づき、第5次いわき市障がい者計画(前期)の実施状況を報告。
	吉村委 員	P.22の『地域生活支援体制強化事業』について。当該事業には、『グループホームの体験機会の確保』も含まれていたと認識しているが、本市における検討状況はどのようになっているのか。
	事務局	国の制度上、概ね1か月程度の体験利用が認められていることから、本市でも、『共同生活援助』の支給決定時に、制度の範囲内での体験利用を認めている。
	吉村委 員	就労継続支援B型や生活介護の事業所では、送迎サービスが実施されているが、広域都市である本市では、障がい者だけでなく、高齢者も含め、様々な送迎のニーズがある。 市全体として、送迎や移動手段の確保について取り

議事	発言者	内容
(3) 障害者差別 解消法に係る 対応状況につ いて		組んで欲しい。(要望)
	事務局	委員の意見を参考としながら、検討して参りたい。
	鍛冶委員	<p>国においては、医療的ケアの必要な児童に係るコーディネーターの配置や、ペアレントトレーニングの実施を進めているが、動きの大きい児童については、ペアレントトレーニングだけでは対応できないケースが多くなってきている。</p> <p>解決策等について、検討をお願いしたい。(要望)</p>
	事務局	<p>コーディネーターの配置については、今後、市医療センターの患者サポートセンター等と一緒に検討して参りたいと考えている。</p> <p>また、強度行動障害のある児者への支援については、現在、市内の実態把握を含め、検討に着手している。</p>
	事務局	配布資料P28～31に基づき、令和3年度における、障害者差別解消法に係る対応状況及び盲導犬受入れ拒否事例について報告。
	議長	盲導犬受入れ拒否事例について、視覚障がい者団体として意見はあるか。
	吉江委員	盲導犬受入れ拒否があった話を聞いて、残念な気持ちになったが、その後、市に適切な対応をとっていただいたので、納得している。
	事務局	配布資料P32～33に基づき、障害者差別解消法に係る個別事例について報告。
議長	<p>施設利用を希望していても、叶えられない事例がある。</p> <p>そこで、入所施設の運営に携わる立場として、何か意見はあるか。</p>	
谷平委員	障がい者計画では、入所施設入所者の地域移行を進めることとしているが、現実では、支援学校卒業生が入所を希望しても空きが無く、結局、市外の施設に入	

議事	発言者	内容
		所することとなったケースもあり、計画目標の達成の難しさを感じている。
	議長	入院から地域への移行という観点から、意見等があればお願いしたい。
	志賀委員	精神病院からの退院時の事例についてだが、女性はグループホーム等の受け皿が少なく、難しさを感じている。 また、新たにグループホームを設置する際も、地域において、精神障がい者の理解を得ることに難しさを感じている。
	議長	なかなか地域の理解が得られず、地域移行を進められないといったジレンマがあるように思う。 一方で、サービスを利用する立場から、何か意見はあるか。
	吉村委員	志賀委員の発言にもあるとおり、本市では、女性用のグループホームは、ほぼ無いに等しいと思っている。 共生型の大規模なグループホームに、地域での受け皿としての可能性を感じているが、本市で設置する計画はあるか。
	事務局	来年度以降の設置について、相談を受けている事案はある。

5 協議事項

議事	発言者	内容
(1) 当事者部会の設置について	事務局	配付資料P34～35に基づき、令和5年度からの当事者部会の設置案について説明。
	鍛冶委員	児童は、当事者部会委員の対象となるか。
	事務局	対象年齢は、18歳以上としたいと考えている。

議事	発言者	内容
	長谷川 (秀) 委員	委員の対象に難病の方が含まれたことについて、評価したい。難病を持つ方が障害福祉サービスの対象となることを、広く知っていただくことにもつながると思う。 様々な障がいを持つ方が参加するとなると、運営側にも高い技術が求められると思うが、非常に良い取組みだと思う。
	議長	他に意見等がなければ、協議事項(1)、(2)については原案のとおり取組むということで良いか。 《全員から、異議なしの意思表示あり。》
	議長	原案のとおり取組むこととする。

6 その他

議事	発言者	内容
(1) 障害者手帳の利便性向上に向けた多様化(アプリ活用)について	障がい福祉課	障がい者手帳アプリ(ミライロID)の導入について、導入趣旨やスケジュール等を説明。
	吉村委員	アプリは、本市以外でも使えるものなのか。
	障がい福祉課	市外でも、アプリに登録済の施設等で使用することが可能である。
(2) 非常災害情報伝達手段の充実に関するアンケートについて	災害対策課	市地域自立支援協議会委員を対象とした、非常災害情報伝達手段の充実に関するアンケートについて説明。(委員への協力依頼)
(3) 次回の地域自立支援協議会開催予定について	事務局	第3回会議については、令和5年3月中旬の開催を予定している。時期が近付いたら案内文書にて周知を図ることとする。

8 閉会